



国道の渋滞緩和 4車線化早期着手に向けて

無所属の会 市民の力 ● 堀田 繁樹 議員

問 交通安全対策について、国道一号の渋滞緩和対策の取り組み状況と今後の見通しは。

答 市内国道一号の慢性的な渋滞に加え、生活道路への進入車両の増加については十分認識しています。早期の4車線化実現のため、

国関係機関に市として根気強く要望を行っています。「ここぴあ」交差点から「市道岩根東口花園線」までの「市道宮の裏線」は整備が必要な路線と位置づけ、今後検討をしていきます。

問 今後のスポーツ振興の充実に向けて、市の基本理念は。

答 スポーツを通じて市民の健康保持増進・地域のつながりや豊かな未来創りをめざします。健康寿命を延ばすため市民のスポーツ参加率向上を図っていきます。

問 スポーツの現状は。

答 関係団体へ補助金交付し、支援しています。市体育協会です。年度新たに「スポーツフェスティバル」を開催して頂きました。



[ここぴあ交差点付近]

問 老朽化が進む「甲西中央橋」の今後の改修計画は。

答 老朽化が進んでおり、早期に架け替えが必要と考えています。

す。着手に向け、県に支援要望していきます。当面の安全対策として、路面補修・外側線など塗り直し補修をしました。

問 今後のスポーツ振興の充実に向けて、市の基本理念は。

答 スポーツを通じて市民の健康保持増進・地域のつながりや豊かな未来創りをめざします。健康寿命を延ばすため市民のスポーツ参加率向上を図っていきます。

問 スポーツの現状は。

答 関係団体へ補助金交付し、支援しています。市体育協会です。年度新たに「スポーツフェスティバル」を開催して頂きました。

問 市民グラウンドの改修計画の予定は。

答 スタンドの老朽化などについて、教育施設管理計画により検討を進めます。

甲賀広域行政組合議会

松原栄樹

湖南市と甲賀市の二つの地方公共団体が甲賀広域行政組合を結成し、消防に関することや可燃ごみなどを共同で処理しています。その組合議会は湖南市・甲賀市議会議員の中からそれぞれ5人ずつを選出し、10人で構成されています。管理者から提案される条例や予算案を審議、議決します。湖南市からの選出議員は、松井圭子、加藤貞一郎、菅沼利紀、堀田

繁樹、松原栄樹の各議員です。
平成29年度第4回臨時議会(11月24日)
議長、副議長の選出申し合わせにより、議長は甲賀市、副議長は湖南市から選出。松原栄樹議員が副議長に就任。
平成29年度第5回臨時議会(12月26日)
議案第16号、職員給与と条例改正について(人事院勧告に基づく給与改定等を行うため)

全員賛成で可決
議案第17号、職員の育児休業等条例改正について(児童福祉法及び雇用保険法等の法律改正による条例改正)
全員賛成で可決
議案第18号、一般会計補正予算、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1427万円を減額する。(人件費及び起債事業の額確定に伴う地方債の補正措置を必要とするため)
全員賛成で可決

公立甲賀病院組合議会

植中みやこ

第2回臨時会 12月26日

5件の議案が提案され、中でも平成31年4月からの独立行政法人への移行については、12月25日に県の許可を得たので中期計画を策定していく。29年度上半期は7854万円の赤字で、さらに収支改善を目指していく。との説明がありました。
・地方独立行政法人公

立甲賀病院定款の制定について
・地方独立行政法人公立甲賀病院評価委員会条例の制定について
の2議案についての主な質疑内容は、独立法人化で課題が解決するのか。職員や市民への情報提供と周知方法、また不採算の診療科目が切り捨てられないかとの危惧、病院組合議会との関係など。対して答弁は、独立化で職員の任用基準が緩和され優秀な人材が集められる。予算執行が弾力的になり、地域の中核病院としてよりよい医療を提供するための移行である。職員へは説明会を7回開催。中期目標は議会で議決される。定款等は、先進事例を参考にしたい。などで
賛成多数で可決